

きびっ子だより

—考える子・やさしい子・元気な子—



おいしい給食をありがとうございます。

1月27日(月)～31日(金)の1週間は校内給食週間でした。毎日給食でお世話になっているすべての人々に感謝するとともに、給食の意義や役割について理解と関心を高めることがねらいです。週間中は、給食委員会が計画してくれた残菜を減らすための「給食すごろく」や給食クイズ、大豆つかみ競争などがありました。また、各クラスでは、給食センターの方やパン屋さん、牛乳屋さんへ感謝の手紙やメッセージを書きました。30日(木)には、栄養士の先生や調理員の方をお招きし、一緒に給食をいただきながら、日頃の感謝の気持ちを伝えました。これからも安全でおいしい給食をよろしくお願いします。給食委員会のみなさん、楽しく充実した給食週間をありがとうございました。



給食クイズ



大豆つかみ競争



給食すごろく



招待給食

ペースランニング始まる！



準備運動

1月28日(火)から冬の体力づくり第2弾のペースランニングが始まりました。毎週火・金曜日の太陽の時間に4分間のペースランニングをします。無理をせず、一定のスピードで走ることが大切です。初めに色別で集合し、6年生を中心に準備運動をします。スタートの音楽で一斉に走り始め4分間頑張ります。終わったらゆっくりと歩きながらクールダウンをします。みんなそれぞれ自分のめあてをもって頑張っています。寒い中でもみんな元気に走っている姿を見ると、とても頼もしいし気持ちが良いです。



さあ、がんばるぞ！



寒くても走る！



みんなで走る！

プログラミング教育が始まります。

今年の4月からプログラミング教育が本格実施されます。プログラミング教育のねらいは、子どもたちのプログラミング的思考力（物事を論理的に考えていく力）を養うことだとされています。学校では、プログラミング教育を教科の中に組み込んで、発達段階に応じて指導していくように計画しています。それに先立ち吉備小でも昨年度からプログラミングの体験学習が始まりました。今年度も先日、1、2年生と6年生がプログラミング学習を行いました。1、2年生は、キャタピラーというイモムシ型ロボットを使って、前進させたり、右折や左折をさせたりするプログラムを考え、パーツをつないでいく学習をしました。自分たちが考えるような動きをさせるためには、どういう順番でパーツをつないでいったらよいかを友達と考えていきました。ロボットのかわいい動きに歓声を上げながら、熱心に学習に取り組んでいました。6年生は、理科「電気とわたしたちの暮らし」の学習の中で、身近にあるセンサーライトの点灯プログラムを考えていきました。「メッシュブロック」というセンサーライトのキットを利用して、スイッチを入れてから点灯するまでの間に、人の動きや振動、明るさ、温湿度などの条件のついたブロックを組み込むことで、より便利なセンサーライトのプログラムを作る学習でした。初めて触ったキットではありましたが、子ども達はすぐに操作に慣れ、グループで工夫したプログラムを考えました。試行錯誤の末、ライトが点いた時は、嬉しそうな笑顔が浮かんでいました。



1年生



2年生



6年生

金光おこわづくり

1月31日（金）に5年生が金光おこわづくりに挑戦しました。5年生が総合的な学習で一生懸命育て、収穫し、自分たちで脱穀した米や青大豆を材料に、いよいよ金光おこわを作る日がやってきました。この日は、地域のおこわ名人の皆さんが6名来てくださり、おいしいおこわづくりのコツを教えてくださいました。おかげでとてもおいしいおこわができました。みんな満足そうな笑顔で、おいしくいただいていた。地域にこんなすばらしい料理が受け継がれていって素晴らしいことだと思いました。5年生のみなさん、今までよくがんばりましたね。



よろしくお願ひします。

最後になりましたが、田植えから始まり、青大豆植え、稲刈り、おこわづくりまで、多くの皆さんに、いろいろなところで大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



みんな真剣に頑張っています。



上手に野菜を切っています。